

カツオと鯉のぼりの川渡し
坂折地区で15年目の開催



展示、撤収、フェスティバルの実施も、事前準備もすべて、地区住民を中心とした実行委員会で運営しています。

坂折地区では、平成13年以降、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、伊与木川周辺にカツオのぼりと鯉のぼりを展示。年々話題を呼び、珍しい鯉のぼりとして全国ニュースでも紹介されています。

5月3日には「第8回川渡しフェスティバル」を開催。少し雨も降りりましたが、昨年並みの約3000人が来場し、佐賀中学校吹奏楽部の演奏や、地域産品の販売などを楽しみました。また、紙のこいのぼり作成教室は、今年も子どもに大人気。紙の鯉のぼりのプレゼントにも行列ができ、子どもたちは、お気に入りの鯉のぼりを手に笑顔を見せていました。

大方高校PTA総会で
カツオたたきバーガー試食

カツオたたきバーガーは、平成20年に大方高校2年生が「自律創造型地域課題解決学習」の授業で生み出した商品です。

このバーガーを保護者にも知ってもらおうと、5月16日のPTA総会で試食が行われました。

3年生2人が、これまでの活動や、作り方などを説明。その後、2・3年生5人が用意したバーガーを保護者に配布しました。

試食した保護者らは「大葉や玉ねぎがきいていておいしい」「ソテーしているのが魚の臭みもなく食べやすい」と好評。生徒たちは「食材などに関心を持ってもらえた」と喜んでいました。



今回試食した「カツオたたきバーガー第2弾」は、ソテーして完全に火を通したたたきを使い、屋外イベントでも販売できるよう改良しました。

ぐっち協力隊がゆく!

地域おこし協力隊・田口佳子
☎43-3306 (旧馬荷小学校)

暑さが日ごとに増してきましたが、皆さんお元気にお過ごしですか。

現在、町内の地域おこし協力隊はぐっち1人です。何か壁にぶつかったり、迷った時、気軽に相談できる人がすぐそばにいたらー。

そこで、町外の協力隊員との交流を大切にしています。

現在、お隣の四万十町で12人、土佐清水市で6人の隊員が活動しています。お互いの活動を知るために、3月は四万十町の隊員を訪ね、4月は土佐清水市の隊員を訪ねました。

各市町村のさまざまな協力隊が集まり、活動内容・近況報告や情報交換をしました。協力隊になって2カ月で右も左も分からない後輩。2年目を迎えて、自分の理想と地域との想いがまとまらず方向性に悩む同期。3年目に入り任期終了後、地域おこしの仕事そのまま自分の仕事につながらないかと奮闘する先輩ー。人に話すことで自分の考えがまとまったり、違う観点からさまざまなアドバイスをもらい固まっていた頭がほぐれたり、整理することができました。

今年度、黒潮町でも新たな協力隊が増える予定です。

このような交流会をこれからも行い、後輩に伝え、自分自身の活動にも生かしていこうと思います。



上・四万十町の協力隊とともに土佐清水市の協力隊を訪問。下・協力隊と地元の若者たちが立ち上げた団体「土佐清水くらし企画」の商品。